

ごあいさつ

6月30日に開催した株式会社日本商品清算機構の定時株主総会及び取締役会において代表取締役社長に選任されました高橋武秀です。当社の健全な発展そして商品先物業界、市場の隆盛のため全力を尽くす所存でありますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

当社はカウンターパーティー・リスクの遮断、効率的な決済業務の実現等を通じ、商品先物市場の信頼性、効率性を高めることを責務として、これまで業務を遂行してまいりました。

ご承知のとおり国内の商品先物市場は2003年度をピークに減少傾向にありましたが、昨年は東京商品取引所が5月に上場した金限日取引の人気化や原油市場の活況を反映して明るい兆しが見え始め、これに伴い当社の債務引受高も底固く推移しているところでもあります。

また、昨年7月には外資系大手金融機関を含め3社の他社清算資格の取得が相次ぎ今後の海外からの取引参加者の一層の増加につながる事が期待される状況にあります。

一方で、清算機関に対する国際的リスク管理の規制強化への要請が増す中であって、一昨年11月には主務省から「商品取引清算機関の監督の基本的な指針」が公表されております。本指針及び金融インフラのための原則に基づき、リスク管理の高度化に万全を期すことが当社にとって継続的な重要課題となっております。

当面の課題に目を向けますと、本年9月の東京商品取引所による日本取引所グループ(JPX)の次期デリバティブ取引システムへの移行と並行して当社の次期清算システムの円滑な移行に向けて順調に作業を取り進めているところであります。

更に、東京商品取引所では本年度中を目途に電力先物市場を創設するべく準備を進めるなど、総合エネルギー市場の整備に取り組まれている最中であり、それらを含め当社は、東商取グループの一員として関係団体とも連携を取りつつ、役職員一丸となって一段の努力を払って課題等に対応してまいり所存です。

今後、種々至らぬ点もあろうかと思いますが、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願ひいたします。

商品先物市場の隆盛と関係者の皆様のご繁栄をお祈り申し上げ、併せて旧に倍するご支援、ご協力をお願い申し上げて、私の就任の挨拶とさせていただきます。

平成28年6月30日

株式会社 日本商品清算機構

代表取締役社長 高橋 武秀